

迎える言葉

大学生生活、自分で考えて動ける人間に、自分です。

入学、おめでとう。

残念なことに、昨年度に引き続き、対面で入部式を開催できないこと、本当に申し訳なく思います。ワクチン接種が進んでない段階で、まとまった人数を集めるのは難しいと判断しました。本当に残念です。

学科ガイダンスでそれぞれの担当教員から、大学での学び方について詳しい話をしてもらいますので、資料を読み合わせながら聞いてください。わからないことなどいろいろあると思います。説明を聞いたり、読んだりしても、よくわからないところは、早めに適切な担当者に訊く。それが大学生生活を上手に送るコツの一つです。学科の教務及び学生支援担当教員の顔を憶えるとともに、連絡先のメールアドレスを確認し、必要な時に連絡してください。それから、わからないことの多くが教務関連だと思います。小さなことでも遠慮せず、文学部の教務担当に相談してください。

それから、ワクチン接種が本格化するのは夏ごろになると思うので、授業は基本、遠隔と思っておいてください。人数が多くない限られた授業は対面のものもあります。熊大では、接触者の確認を素早く行えるよう、各教室の机にQRコードを貼ってあるので、読み込みの仕方を知っておき、毎回読み込むようにしてください。最近のコロナの変異種は若者でも重くなることもあるそうなので、各自、授業だけでなく、部活サークルやアルバイトなどでも、自分で感染対策を意識するようにしておいてください。

大学は自らの学びを自ら拓げ深める場所。授業の使い方は高校までとかなり変わります。教えてもらったことを憶えるのも大事ですが、大学では自分の学びを自分で拓げ、深める。授業はそのためのあくまでも「刺激材」。授業で面白いと思ったことがあったら、自分で調べて、書き物としてまとめる。デジタル時代だからこそ、アナログで差異化する。そのためにも、図書館をどんどん使ってください。加えて、大学にはそれぞれの分野の専門家がいますので、自分から積極的に話を聴きに行く。自分で考えて自分で動く。それが大学での身につけてほしい生活習慣の一つです。まずは話しやすい教員を見つけ、大人と自然に話せるようにすると、就職活動でも役に立つはず。自分で探せば学びは色々なところにある。それが大学です。貪欲に使い込んで授業料に見合った学びを自分で手に入れてください。

部活やサークル、アルバイトも、できる範囲でやってみることを勧めます。コロナで部活やサークルの活動もこれまでより制限されているとはいえ、そこで学ぶことは少なくないし、就職活動のネタにも使えます。でも、アルバイトもそうですが、決して無理はしないこと。学業に影響が出るようでは問題、ありますよね。それはあくまでも、自分の責任で楽しく大学生生活を充実させるための手段。上手く付き合うのが大事だと思います。

自由な時間が増える一方で、危険が身近になるのも大学生生活。全国の大学でも問題になっ

ているように、カルト系の人たちが近寄ってきたりすることもあるし、詐欺まがいの人たちも自分たちを狙ってる。オートロックのマンションでも部屋を出たら、そこは道路と同じなのに、安全とってしてしまう。犯罪行為に誘う悪い人たちもいなくもない。大学にも思う以上に身近に危険が潜んでいることを自覚し、用心しつつ自由を楽しむ。そんな大学生活を送ってほしいです。

自分で考えて動ける人間に自分するのが大学。道具として大学をどんどん使ってください。それを応援してくれる教員や職員が身近にいます。遠慮なく、相談してください。

あらためて入学、おめでとう。これからの大学生活を楽しんでください。

令和3年4月

文学部長 水元豊文